

恵友

医療法人恵友会

霧ヶ丘つだ病院

ほっとホーム霧ヶ丘

恵友会デイサービスセンター

訪問看護・ヘルパー

ケアプランステーション



今号の恵友

- ・新年度のご挨拶
- ・新しい禁煙啓発のCMが始まります
- ・介護付有料老人ホーム開設のご紹介
- ・第23回呼吸ケア・リハビリテーション学会
- ・(市政50周年)第3回健康フェア報告
- ・第11回日本喘息・COPDフォーラム
- ・市民公開講座開催のお知らせ
- ・(トピック)
病棟クリスマス会・恵友会の忘年会
北九州マラソン参加報告

『北九州マラソン2014～未来へ、かける～』

昭和38年2月10日に旧五市(門司・小倉・若松・八幡・戸畑)が対等合併して誕生した北九州市が、平成25年2月10日に市政50周年を迎えました。



そのことを祝して市内各所では様々な記念行事が開催され、そのフィナーレとして平成26年2月9日、北九州市初の大規模市民マラソン大会が盛大に開催されました。参加ランナー11,194人、ボランティア約4,700人、沿道応援約28万人という感動的なビッグイベントになり、北九州の街並みがいつも以上に活気に満ち溢れた1日でした。北九州市民であることの誇りを胸に、次は市政100周年へ向けて駆け抜けていきたいものです。

写真提供：北九州マラソン実行委員会
文：井田 章博

新年度のご挨拶と新規事業のご紹介



春本番を感じられる日になってまいりました。

霧ヶ丘つだ病院、ならびに恵友会デイサービス、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、ケアプランステーションをご利用いただきありがとうございます。

4月からの国の医療供給体制の激変という荒波に揉まれながらも、医療法人社団恵友会としては、患者さんや利用者の方々の方を向いて、事業を進めて参ります。

これまで酸素を吸っている患者さんや医療必要度の高い方が介護保険施設に入居しにくいことが全国でも問題となっていました。そこで、昨年11月に北九州市に介護保険特定施設（介護付有料老人ホーム）の申請を行い、トップの評価をいただき、安部山公園の近くに開設する予定となりました。

奈良時代、和氣清麻呂公がお告げを受け、湯川にて霊泉につかり痛みを和らげ（物理療法：水治療法）、歩く練習をしました（運動療法：歩行練習）地であります。これが日本で初めての「リハビリテーションであったと考えられます。近年になり、足立山の麓にある九州労災病院では、脳卒中リハの先駆者、服部一郎先生と共に前理事長・津田稔は呼吸リハを日本でいち早く開始しました。このような歴史的背景を持つ、湯川・安部山の地に介護付有料老人ホームを開設し、介護が必要な方々のケア・リハビリテーションを行いたいと考えました。

緑に囲まれた地で、ハッピーな介護スタッフとご機嫌に生活ができる安住の地となるようにしたいと考えております。来年の4月より入居が可能となります介護付有料老人ホーム「あべやま」を何卒よろしくお願いたします。

医療法人社団恵友会 理事長 津田 徹

4月より禁煙啓発の新しいCMが放送されます

親子禁煙講座

3



4月より、禁煙外来のTVコマーシャルに津田 徹が出演しております。親子で禁煙について考えてみよう、というテーマです。

当院がスタッフ全員で取り組んでいるCOPD（慢性閉塞性肺疾患：肺気腫や慢性気管支炎）の予防のためにも、まず禁煙が大事であります。みなさま、是非、禁煙の輪を拡げてください。よろしくお願いたします。



禁煙外来は「すぐ禁煙」

検索

来年4月より 介護付有料老人ホームを新築オープンいたします！

北九州市から特定施設入居者生活介護の認可を受け、このたび、介護付有料老人ホームを開設させていただくこととなりました。

予定地周辺は足立山・安部山など緑豊かな自然に囲まれた穏やかな場所であり、桜や紅葉など四季折々の風情が楽しめます。

当法人の中心事業である霧ヶ丘つだ病院から近い位置に立地するため、密接な医療と介護連携が可能であるというメリットを生かして医療依存度が高い方（例えば在宅酸素療法）の入居も積極的に受け入れることができます。また、リハビリテーションの重要性から、施設に理学療法士を配置・さらに一般共用機能訓練スペースを地域の方々に開放し、入居者の方々はもちろんのこと、地域の方々の健康増進の場としてもご利用いただけます。

「質の高いやさしい医療・介護」という法人理念のもと、入居者の安心かつ安全な暮らしを考え、充実したサービスが提供できるよう努めてまいりたいと思います。

介護付有料老人ホーム『あべやま』のご紹介

施設：介護付き有料老人ホーム（地上3階、地下1階）

名称：介護付き有料老人ホーム あべやま

開設予定地：小倉南区湯川四丁目2番地

定員：65名（65室）

開設予定日：平成27年4月1日



有名な安部山の桜並木



<施設のコネプト>

周囲の景観に配慮し、緑豊かな周辺環境と調和を図り、地域の健康づくり・交流の拠点として必要な設備を備えた設計を目指します。

- 四季の移ろいが感じられる住環境
- 建物内に自然通風を促す吹き抜け空間
- 機能訓練・健康サロン
- 自立生活を支援するため、少ない介助で利用できる環境づくり
- 各居室に自然光が多く入るよう大きな出窓を設け、入居者の趣向で飾り付けも可能

< 完成予想イメージ >

第23回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会

H25年10月10日～11日 東京ドームホテルにて

日本大学医学部の橋本 修教授が会長を務められ、会場には約3000人の呼吸ケアに携わっている医療従事者の方々が集まり、日々の成果と情報交換を行いました。

津田院長は「COPD医療の実際」というシンポジウムで司会を務め、当院スタッフも様々な取り組みを発表しました。各演題の概要をご覧ください☆

『先天性ミオパチー患者の呼吸機能と今後の課題』 理学療法士 北村 朋子



呼吸筋疲労や胸郭コンプライアンスを維持するための管理が不足していた先天性ミオパチー（発症率は極めて低く10万人に1人といわれ全身の筋力低下を起こしてしまう難病）の患者さんに対し、呼吸リハによる胸郭アプローチ・アンビューバックによる吸気補助指導を行い、換気・呼吸・吸気量ともに増加が認められました。

本疾患は、他の神経筋疾患と同様に呼吸障害があるため、換気・気道クリアランス等に対する呼吸リハの役割はとても重要になります。また、国の難病指定になっていないミオパチー患者さんが適切な治療を受けるにはどうすればよいのか等の情報整備も必要不可欠であり、取り組むべき課題は多く見受けられます。

『外来呼吸リハビリテーションの長期効果－継続群と非継続群の比較－』 理学療法士 池内 智之

今回、呼吸リハを継続している患者さんと継続していない患者さんを定期的に評価し、継続することの重要性を比較検討しました。

外来呼吸リハを実施したCOPD患者さん17名（継続群9名と非継続群8名に分類）に対し、3ヶ月毎に各身体機能や精神面を評価、その結果を両者で比較しました。

結果、継続している患者さんの評価値が有意に高く、また、長期にわたり運動耐容能・筋力・筋肉量・精神機能も維持できていました。COPDは高齢者が多く、あらゆる機能が低下していく傾向にあります。身体・精神機能の維持や急性増悪の予防には呼吸リハの早期開始・継続していくことが重要です。



『NRADLとBODE index の関係について（ポスター）』 理学療法士 岡本 一紀



今回、COPD患者さんの生命予後を予測する指標BODE indexを用いて、NRADLとの関係を検討しました。

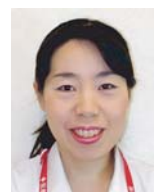
2010年8月～2013年3月の間に入院呼吸リハを行った患者94名に対し、肺機能検査・NRADL・BODE indexを1ヶ月以内に評価し、対象を4群（軽症・中等症・重症・最重症）に分けて調査を行いました。結果、BODE indexが重症であるほどNRADLの点数が低くなっており、両者に負の相関が認められました。このことから、ADLが低下すると生命予後不良である可能性もあるため、今後NRADLの結果を基に個別性を重視した呼吸リハを展開していく必要があります。

『COPD患者におけるMEIN（ホエイペプチド含有補助食品）の有効性について（ポスター発表）』 管理栄養士 宗 まりこ

ホエイペプチド含有食品のMEINは炎症性サイトカインの産生を抑制する効果があると報告されているため、当院に入院・通院中のCOPD患者さん10名（A群：MEIN摂取5名、B群：ホエイペプチド非含有流動栄養食品摂取5名）に栄養療法を行いました。

結果として、平均体重・平均BMI・6MWD距離はA・B群ともに増加、CRP・IL-6・TNF- α などの炎症数値はA群が低下、CRQはA群が増加しB群が低下しました。

このことから、MEINは炎症性サイトカインの産生を抑制する効果や呼吸困難・疲労感等の改善につながる可能性があることが考えられます。



北九州市政50周年記念&市民の健康づくり活動の一環として

第3回健康フェア開催!! 大盛況でした!!



平成25年度は北九州市政50周年ということで、市内各所で多くの記念イベントが催されました。

平成26年1月12日に西日本総合展示場にて開催された健康フェアでは、各専門スタッフによる健康チェックや先生方によるご講演、健康食品の販売や介護関連の展示など様々なブースが用意され、来場者はなんと2300名を超えました。

ももとは地域の調剤薬局(サンキュードラッグ)さんが独自で開催していた健康セミナーですが、市民の健康意識が年々高くなっている背景を受け、行政・看護協会・薬剤師協会を巻き込んで市全体の大イベントとして催されるようになりました。



津田院長はCOPDについて講演



認知度が低いことから未診断の患者が多く潜在するというCOPDについて、どのような病気・症状なのか、早期の禁煙や肺年齢測定的重要性を含めて講演されました。

COPDの認知度向上は健康日本21の目標であります。

各種測定・体験・展示などが盛りだくさん♪



どのブースも人だかりができるくらい多くの方々にご来場いただきました!

2055年にはCOPD患者1100万人超えの可能性も



津田院長はe-CATを用いたパイロット報告をしました。

2014年3月8日、東京プリンスホテルにてJASCOM主催の第11回 日本喘息・COPDフォーラムが開催され、各先生方によるワークショップや活動報告、また、バルセロナよりAlvar Agusti 教授をお招きして基調講演が行われました。

2005年にCOPDの推定患者数は635万人でしたが、このままでいくと2030年には888万人、2055年にはなんと日本人口の約1割にもなる1126万人がCOPD患者であるという危機的な予測値が報告されました。このことを受け、JASCOM会員の先生方を筆頭に、全国の病院が団結して今後より一層のCOPD予防・啓発活動に力を注いでいかなければならないことと思います。

e-CATとは？

e-CAT (Electronic COPD Assessment Test) は、これまでの紙ベースCAT (COPDの状態が患者の健康と日常生活にどのような影響を与えているかを把握するための評価シート) を当院とグラクソ・スミスクライン株式会社が協力して電子化 (アプリ化) したもので、これによって全国で使用・患者さんの状態変化が追えるようになりました。

当院ではe-CATアプリの入ったタブレット端末を院内共有のツールとして使用し、日々、COPD患者さんの状態管理に役立てています。(右の写真)



お知らせ

睡眠に関する市民公開講座を6月に開催します

市民公開講座
いびき、睡眠を見直そう

主催：北九州下関睡眠呼吸障害研究会
後援：北九州府 北九州商工会 北福岡商工団 福岡県医師会 検査技師会

その場、聴きましょう。に、聞きましょう。

睡眠呼吸障害候群は、太った男性だけではなく、
頭の小さな男性、閉経後の女性なども注意です。ぜひ夫婦でお越しください。

日時：2014年6月15日(日) 15:00~16:30(14:30開場)
場所：リバーウォーク6階 北九州芸術劇場 中劇場
参加費：無料(先着600名様。要事前申し込み)
*当日は駐車場が大変混み合います。公共交通機関をご利用ください。

1部 15:00~15:45 総合司会 霧ヶ丘つた病院 津田 徹 末松利加
男性の病気??女性にも意外と多い睡眠時無呼吸症候群(仮)
虎の門病院 睡眠センター長 成井浩司 先生

*日本をリードする先生であり、NHKスペシャル等の放送、ためたがって、たけしの本などに輝いた医学などに出演され、啓発活動を行われています。

癒しのミニコンサート 15:50~16:10
二胡の音色で癒しのひとときを♪
二胡・帯金真理子、シンセサイザー・森 孝良
*ジャンルに関係なく独自のアレンジと演奏スタイルで福岡、北九州、大分を中心に全国各地、様々な施設やイベントで活動中。

2部 16:15~16:45
質問コーナー
あらかじめ申込書にご記入いただいた質問について各専門スタッフが応答します。時間の都合上、すべての質問にお答えできない場合もございます。ご了承ください。
参加施設：有吉祐輝クリニック(有吉祐先生)、産業医科大学病院(北村拓郎先生)、九州歯科大学付属病院(謝良進先生)、坂本クリニック耳鼻咽喉科(坂本菊男先生)、製鉄記念八幡病院(今永知俊先生)、新田原野病院(緒方賢一先生)

申込み方法
本チラシ裏面のFAX申込書に必要事項を記入し送付いただくか、下記連絡先に直接お申込み下さい。
電話：0120-430505(月~金 9時~18時受付)
FAX：0120-310871(終日受付)
メール：ibiki-mukokyo@ntact.co.jp(終日受付)

〒812-8502 北九州府小倉本館第11階11-11 北九州芸術劇場中劇場
本館1F駐車場から徒歩10分(エレベーター利用)です。
一階1Fへ行って、劇場裏エレベーター、エレベーターから1Fへ上り1Fへお入りください。

市民公開講座を今年もリバーウォーク北九州で開催いたします。今回は講師に、虎の門病院 睡眠センター長であります成井 浩司先生(日本の睡眠医療をリードする先生であり、NHK等各種メディアにも多数出演されています)をお招きする予定です。

二胡とシンセサイザーによるミニコンサートも予定しておりますので、皆さまふるってご参加ください。(日程は下記の予定です)

日時：6月15日(日)
15:00~16:30

場所：北九州芸術劇場 中劇場
(リバーウォーク北九州6階)

参加費：無料(先着600名)

※事前申し込みが必要ですが、詳細は別途お知らせします。

トピック

Holly~night~♪ 病棟クリスマス会

今年のクリスマス会も珍しい楽器が登場しました！ファゴットという1 m以上にもなる低音木管楽器と、ピアノ・バイオリンによるセッションでクリスマスメドレーを演奏していただきました♪

病棟クリスマス会ですが、外来の患者さんやご家族の参加もぜひお待ちしております☆



左より
武内 麻美さん(バイオリン)
越智 可奈子さん(ピアノ)
國頭 彩さん(ファゴット)

トピック

1年間を慰労して・・・恵友会の忘年会

忘年会では、2013年の慰労と2014年への新たな展開・目標に向けて、スタッフ同士が熱く語り合っていました！

消費増税・診療報酬改定等もあり激動の2014年になりそうですが、そのような荒波も一致団結して乗り越えたいと思います！



多忙な業務の合間に練習した成果です★

トピック

北九州マラソン 2014 に参加しました！！



2月9日に開催された市政50周年記念北九州マラソンに当院のスタッフもランナーと救護ボランティアで参加しました！

天候は決して良いコンディションではありませんでしたが、ゲストの有森 裕子さんをはじめ、約30万人近い沿道の市民の方々・ボランティアの方々の応援が雨雲を吹き飛ばし、ランナーの皆さんを終始励ましていた様子は言葉では言い表せない素晴らしい光景でした！

このようなイベントは市の活性化はもちろんのこと、市民の「地元愛」を育む良い機会にもなります。来年もまた市民参加型の大イベントを開催していただきたいですね☆

参加者の皆さん、応援してくださった皆さん、お疲れ様でした！

☆フルマラソン満喫☆

自身にとって初めてのフルマラソンがこの北九州マラソンでよかったなと心底思えるようなイベントでした。沿道の方々の熱烈な応援、ボランティア・協賛企業のサポート、参加したすべての人々が一つになったような感覚で、走るのには本当にきつかったですが今は楽しかった思い出と感謝の気持ちでいっぱいです。また、来年も開催されるのであれば出場したい……かなと思います(笑)



完走メダルGETしました



三萩野病院さんと当院の救護スタッフで記念撮影

私は38km地点の救護担当として参加しました。様々な症状で救護室に来られるランナーの方々に戸惑うこともありましたが、完走したい皆さんの気持ちに応えるため懸命に看護しました。ランナーと救護スタッフが同じ目標に向かって頑張る一体感はとても感動的で良い経験になりました。次はランナーとして参加したいです！

(永田 愛)

外来担当のご案内

【外来担当表】

2014. 4. 1

下記の担当医は、都合により変更になる場合がございます。その場合は他の医師が診察いたしますのでご了承ください。

	午前(9:00~12:00) 受付は11:30まで(初診は11:00まで)	午後(14:00~17:00) 受付は16:30まで(初診は16:00まで)	(17:30~20:00) 受付は19:30まで
月	津田 徹 吉本 美華 増井 太郎(10:30~)	一木 克之	
火	津田 徹 一木 克之 良永 倫子	リウマチ外来 加茂 洋志 自見 勇郎	
水	午前外来休診	関 七重 [九大呼吸器科] 高木 努 廣澤 誠 [産医大]	一般内科・呼吸器外来 津田 徹 (一木 克之) 一般内科・糖尿外来 田中 誠一 [九州労災病院]
木	津田 徹 自見 勇郎 良永 倫子	リウマチ外来 加茂 洋志 吉本 美華	水曜日の夜間外来は再来患者さんのみの診療となります。
金	津田 徹 一木 克之 高木 努(10:30~)	岡元 昌樹 [久大1内科]	ただし、睡眠時無呼吸・禁煙外来の初診は18時半まで受け付けています。
土	自見 勇郎/徳山 晋 [隔週] 吉本 美華/高木 努 [交替] 脳血管外来 石束 隆男 [第2土曜] 睡眠歯科外来 津田 緩子 [月2回:予約制]		(注) 院長の外来診療は、予約制となります。

※月に一度、最初の診察日には**保険証**を忘れずご持参ください。

※日曜、祝日、土曜午後、水曜午前は休診です。(その他の休診日については、その都度掲示致します)

※睡眠呼吸障害外来の初診は月~土の全診療時間で行っております。

※当院にお掛かりの方で喘息の発作その他緊急時には、夜間でも電話(952-1304)をかけてご来院ください。



医療法人 恵友会

霧ヶ丘つた病院

ほっとホーム霧ヶ丘

恵友会デイサービスセンター

訪問看護・ヘルパー・ケアプランステーション

発行日 : 2014年4月1日

編集発行人 : 井田 章博

発行所 : 医療法人 恵友会

〒802-0052

北九州市小倉北区霧ヶ丘3-9-20

Tel. 093-921-0438 Fax. 093-921-5988

ホームページ : www.k-you.or.jp

メール : info@k-you.or.jp